

K E
気

SGH 通信

K O H
高海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 3 号 平成 28 年 9 月 29 日発行

こころざし

たか

け こうせい

志の**高い気高生**を目指して

大震災の経験を素材としてスケールの大きな復興の担い手を育成する「東日本大震災復興プログラム」では、震災・防災に関する学習、地方創生に関する学習、志教育の3つを柱としています。志教育では、社会の第一線で活躍されている方からの講話、進路情報や学力・学習状況の分析説明会、大学生や他の高校生と話し合う機会などを活用しながら、「社会の中で、自己を活かす生き方を探究する進路学習」に取り組んでいます。

元防衛大臣小野寺五典先輩をお迎えして教育講演会を開催

8月25日(木)、本校第一体育館において、小野寺五典氏(衆議院議員:旧気高31回生)を講師としてお招きし、「新しい時代に生きる～地域愛と国際的視野を持って行動することとは～」という演題で教育講演会を開催しました。国会議員を目指した理由、防衛大臣時代のエピソード、国際社会における外交の重要性とその難しさ、人口減少がもたらす影響などを分かりやすくお話していただきました。「少子化をはじめとする人口減少が始まっている。昔のように、黙っていても社会が成長する時代はない。」という言葉に、現実の厳しさと日本におけるこれまでの常識を捨て去り、グローバル化する社会の中で生きていく力を身に付けることの重要性をあらためて感じる事ができました。



生徒の感想◆教育講演会を聞き、現代の日本と世界との関わりや「少子化」などによるこれからの経済的な変化について考えさせられた。今まで日本だけの視点で生き方を考え、平凡な毎日を送ってきたが、「世界」に視野を広げ、国際化に対応できる力を身に付けておくべきだと感じた。◆外交の難しさを知ることができた。世界の中で、領土が狭く、資源の少ない日本が現在の地位を維持できているのは、「平和国家であることや高い経済力、優れた技術力など世界に誇れることがたくさんあるから」ということも知ることができた。気仙沼や日本の良さを知らずに世界に目を向けようとしている姿勢を正す良い機会となった。

志教育に関わるこれまでの取り組み

☆スタディサプリ: 8月8日(月) <品川プリンスホテル>

リクルート主催のスタディサプリに2年生4名、1年生19名が参加しました。芸能人や各界の著名人によるプレゼンテーションイベントで、本校の学校評議員でもある気仙沼ニッティング株式会社代表取締役の御手洗瑞子氏も登壇者として参加することから、御手洗氏のご厚意により、気仙沼高校の生徒が無料で招待されました。生徒たちは多角的な視野を持って生き方を考える重要性を学ぶことができました。

☆気仙沼市「海の市」での観光客アンケート調査: 8月21日(日) <海の市>

気仙沼市の観光課が主催。市の観光業を発展させるための貴重なデータ収集となるこの活動に、アンケート調査員として1年生5名が参加しました。今後、10月2日(日)・30日(日)にも3名ずつ参加する予定です。

☆第3回OECD東北クラスタースクール: 8月16日(火)～18日(木) <福島県いわき市>

1年生5名が参加。今回の東北クラスタースクールは、来年の夏に東京で行われるOECD主催の中高生による国際会議において、「地方創生」について提言を行うための東北地方の中高生対象の勉強会です。

た。現在ではメンバーも1年生8名に増え、12月に行われる第4回東北クラスタースクールに向けての話し合いを進めています。

☆『ぬま会』：9月4日（日）＜気仙沼市南町「c-o-ba kesenuma」＞

気仙沼市の担い手育成事業「気仙沼わかもの会議『ぬま会』」に1・2年生の10名が参加。地元の高校生同士が「防潮堤」「気仙沼の好きなところ・嫌いなところ」「歴史・大学」などのテーマで話し合い、最後には気仙沼市長からの激励のお言葉をいただきました。

☆大阪志学台レオクラブとの交流会：9月4日（日）＜気仙沼高校＞

生徒会執行部とのワークショップなど交流会を行いました。大阪志学台レオクラブは大阪大谷大学の学生サークルです。今回は33名が本校を訪れ、「理想の学校」について話し合いました。大学生の方々のリーダーシップ性や想像力の豊かさなどに驚かされた交流会となりました。



レオクラブとの交流会

☆京都大学の学生との交流会：9月7日（水）＜気仙沼高校＞

今回交流会では5名の学生が来校し、ゼミやサークルなどの大学生の生活や留学などについて、学生のみなさんの実体験をもとに話していただきました。また、生徒の進路などの悩み相談や学習指導をしていただきました。京都大学学生ボランティアは、平成24年9月に初めて気仙沼市および本校を訪れて以来、年に2回のペースで気仙沼地域でのボランティア活動と、本校生徒との交流会を継続的に行ってくれています。



京都大学の学生との交流会

☆総合的な学習の時間：1～3年生

1年生では進路探究を中心に取り組んでいます。4月27日（水）のガイダンスをスタートとし、6月8日（水）にはリクルートの佐々木敦斗氏による職業探究講話をしていただき、9月7日（水）にはベネッセコーポレーション東北事業部の澤田健太郎氏から「模試の活用法」「家庭学習の必要性」「進路実現に向けて大切なこと」などをお話していただきました。10月15日（土）の第1回土曜授業では「キャリアセミナー」を実施し、働くことについての考えを深めます。2年生では、「学問研究」にチャレンジしています。1年次では地域社会研究の先駆けとなる「気仙沼のために何ができるか」というテーマのもと、グループごとに研究を進め、ポスターにまとめて発表をしました。12月の修学旅行では、全員で京都大学を訪問し、「学ぶ意義」を迫及してきます。3年生では、1年次の職業探究、2年次の学問探究を踏まえ、明確かつ説得力のある進路の在り方を自ら探り、進路達成のための意欲向上につなげています。3年間のまとめとして、「1年後の未来」と「気仙沼のためにできること」などを考え、進路達成がゴールではないことも意識しています。

宮古でボランティア活動を実施

9月22日（木：秋分の日）、本校生が台風10号で大きな被害を受けた岩手県宮古市を訪れ、側溝や民家庭先の泥出し、家財出しなどを行いました。生徒会執行部から「ぜひ支援活動をしましょう」と全校生徒に呼びかけたところ、61名の生徒が集まりました。バスの車窓からは、泥が溜まったままで手つかずになっている場所も見られ、生徒会では、今後も継続的に活動したいと考えています。ご協力いただいたみなさんお疲れ様でした。



「グローバルリテラシーの成長」を自己チェック！

SGHに指定され半年が経過しました。入学時より取り組んできた総合的な学習の時間（1年生は地域社会研究も含めて）や授業、部活動、各種行事などを通して、本校がSGH事業で身に付けるべき資質がどのくらい成長しているのかを自己評価してみましょう。＜2・3年生の皆さんはSGH事業の先駆者です。日々の生活では意識していないかもしれませんが、これまでの生活でグローバルリテラシーがどのくらい成長しているのかを入学時と比べてみましょう。保護者の皆様も一緒に話し合ってみてください。＞

	批判的・科学的思考力	総合的・未来思考力	コミュニケーション力			多様性 (異文化・他者理解, 多角的視野など)	協働性 (課題解決を仲間とともに目指す)	行動力 (実践する・発信する)
			語学力	言語的コミュニケーション力	情報活用力			
入学→現在	→	→	→	→	→	→	→	→

5：十分ある 4：けっこうある 3：まあまあある 2：少しはある 1：あまりない